

事務事業名	生涯大学システム運営	所属	生涯学習部生涯学習課	H20事業費 (単位：千円)	8,739
目的	<p>東広島市内の学習支援サービスを提供する機関・団体のもと、市全体が市民の学びを支えるキャンパスとなり、一人ひとりの自己実現につながる様々な学習を応援していくこと(学ぶ)、また、学んだことを生かすことのできる環境をつくること(生かす)で、学園都市にふさわしい豊かな地域実現を目指すという、本市独自の「東広島市生涯大学システム」事業の普及・定着を図る。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>(1) 生涯大学システム運営協議会(参加21団体)代表者会及び幹事会の開催(必要に応じ開催) H20年度は開催していない。</p> <p>(2) 学習メニューブック、パスポートの発行、5日制ノートの配布 学習メニューブックの発行 年2回、前期 4月発行・4月～9月分掲載、後期 10月発行・10月～3月分掲載。計434講座 パスポートの発行(登録者数 H20.3末 538名 H21.3末 580名) 5日制ノートの配布 課外活動について記録し、確認を受け、ポイント達成者には、学ぶキッズ賞として賞状と副賞を各学校を通じて贈呈。 ・まなぶちゃんノート 市内の新小学1年生全員に配布 ・ジュニアパスポート 市内の新中学1年生全員に配布</p> <p>(3) モデルプログラムの実施 東広島学(近畿大学連携) 市長や市職員等を講師に、教員養成課程必須科目として全15回実施 東広島市について学んだ。市民も受講。 教職員キャリアアップ研修(広島大学連携) 広島大学大学院の教職員を講師に、各小・中学校長から推薦を受けた中堅教職員を対象に4日間実施。 ひがしひろしまスペースクラブ(広島大学連携) 広島大学大学院の教職員や大学院生を講師に、全8回で小4～中3を対象に実施。宇宙について学んだ。 学んで輝くひと・まち・塾(広島国際大学連携) ・ボランティア発見講座 市内のボランティア団体等を講師に教員養成課程選択科目として全8回実施。市民も受講。 ・サマーカレッジ 団塊の世代を対象に、広島国際大学の教職員を講師に全3回実施。学生も受講。 市民参画型生涯学習企画講座(広島大学連携) 市民やボランティア団体に広報等で、講座の企画を募集し、応募の中から2つの講座を選定し、広大からの指導・助言を受けながら市民やボランティア団体自らが企画した講座を実施運営。</p> <p>(4) 出前講座の実施 メニューは97講座。計215回実施し、延べ9,000人が受講。</p>				
評価及び課題	<p>別紙「事業実施状況」のとおり、出前講座において、開催件数の伸びが著しい。地域へ講師が出向くため、また無料で専門家の話を聞くことができるため、利用が増加している。また、何回も利用される団体が多い。ゴミ問題、子育て、高齢者医療等身近なことに係る講座の依頼が多く、市民の聞きたいこと、知りたいこと等市民ニーズに合った内容がメニュー化されていると評価される。</p> <p>生涯大学パスポートの登録者が増加しているところから、市民の学習意欲が高まり、生涯大学システムの効果が現れていると言える。</p> <p>5日制ノートについても、小学校では児童・生徒数に対するポイント達成者の割合が、平成19年度10.0%から平成20年度20.0%と倍増しており、学外の学びについての動機付けという役割が浸透してきている。各学校に配置している生涯学習担当者の取り組みの成果と言える。</p> <p>等が評価としてあげられる。</p> <p>一方、 大学連携の各モデルプログラムの内容が、3年を経過してマンネリ化が見受けられるので、内容の吟味・検討が必要。</p> <p>生涯大学システムの各プログラムについて、もっと広い広報が必要。せっかくのいいプログラムが、まだ市民に浸透しているとは言えない。幅広く広報して、利活用の増大を図る。</p> <p>5日制ノートについては、小学校高学年や中学生への啓発、取り組み内容の検討が必要。等が課題としてあげられる。</p>				

事務事業名	生涯学習フェスティバルの開催	所属	生涯学習部生涯学習課	H20事業費 (単位：千円)	7,400
目的	<p>一人ひとりが生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学習することができ、その成果が適切に評価される生涯学習社会の実現をめざして、新たな交流や連携を生み出す活動の機会を提供するために開催する。</p> <p>また、公民館活動等の日頃の学習成果の発表の場としての位置づけも重要。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>11月1日(土)～2日(日)[メイン会場：アクアパーク(東広島運動公園)体育館]で開催 「東広島健康福祉まつり」との共同開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針 <ul style="list-style-type: none"> 市民の能力開発と生涯大学システムの推進 子どもの生涯学習支援 生涯学習と福祉の協働 市民参画の拡充 ・総合テーマ「新たに創造する生涯学習のまちづくり」 ・大会テーマ「未来の夢 みんなで高める 学びの場」 <p>地域体験・参加型イベント(主開催の2日間を含む、前後各1週間の計2週間の期間内に、市内の様々な地域で展開する市民の企画運営による体験型の委託事業)の実施</p> <p>H20年度：実数27,600人 内訳：メイン会場25,500人、中央図書館2,100人</p>				
評価及び課題	<p>庁内の部局の参加が継続しており、全庁的な生涯学習の推進を展開。 大学からの参加ブースも多く、児童生徒や一般参加者にとって大学を身近に捉える絶好の機会であり、生涯大学システムとの関連からも大変意義深い。 ボランティアゾーン・公民館ブースにおいて、市民が直接体験学習できる場を提供できた。 等が評価としてあげられる。</p> <p>一方、 近隣に駐車スペースが少ない。また、公共の交通機関も少ないため、来場がやや困難。 健康福祉まつりの同時開催のため、会場の広さが充分でない。 等、主にハード面についての課題があり、対策を検討している。</p>				

事務事業名	地域生涯学習のまちづくり	所属	生涯学習部生涯学習課	H20事業費 (単位：千円)	8,221
目的	<p>市民の自主的な参加のもとに真に豊かで住みよい地域づくりの推進を図ることを目的として、自主的かつ主体的にまちづくり活動に取り組んでいる団体等が実施する、地域の特性やふるさと資源を生かした個性的で魅力ある地域づくり推進事業に補助するもの。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>補助金額：まちづくり協議会ごとに15万円を限度とする。 補助金の交付対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生涯学習のまちづくり協議会が行うまちづくり事業 ・地域づくりのための啓発・学習活動のための事業 ・地域づくりを担う人材を養成する事業 ・地域づくりの将来ビジョンの策定に係る事業 ・その他個性的で魅力ある地域づくりのための事業 <p>同一の事業が続けて補助金の交付対象となる期間は、3年間を限度とする。</p> <p>各小学校区ごとに結成された「まちづくり協議会」全45団体のうち、43団体が交付申請。</p>				
評価及び課題	<p>全45団体中43団体に対し、地元の自主的な地域づくりの活動を支援できた。 一方、小学校区(福富・豊栄・河内については旧小学校区)を単位とする生涯学習のまちづくり協議会の存在は大きいものと考えられるが、補助金の事業内容が世代間・地域間交流を主としたイベント型事業が大半を占めており、地域課題や生活課題の解決に向けた事業展開へステップアップする必要がある。</p>				

事務事業名	西日本生涯学習シンポジウムの開催	所属	生涯学習部生涯学習課	H20事業費 (単位：千円)	1,000
目的	全国的に生涯学習の理念も広まり、生涯学習社会といわれる今日、学習の内容も多様化・高度化しつつある。このような中で、学習の成果が地域の創造や活性化に生かされ、市民と行政の協働による生涯学習のまちづくりをさらに推進していくことを目指し、西日本生涯学習シンポジウムを開催する。				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>平成21年2月7日(土)～8日(日)の日程で、全国生涯学習市町村協議会主催による「西日本生涯学習シンポジウム」を本市で開催した。本市は協議会事務局を担当しており、市からも地元開催の負担金100万円を支出しているが、運営にかかる事務は本市職員により行った。</p> <p>このシンポジウムは、近隣市町の行政職員や全国で生涯学習のまちづくりを推進する関係者の研修の場であると共に、学習の成果が地域の創造や活性化、市民と行政の協働によるまちづくりへとつながるものとして北海道から鹿児島県まで約700名の参加者が会場に集まり、交流を深めた。</p> <p>開催テーマ 「まち全体を学びのキャンパスに」</p> <p>主催 全国生涯学習市町村協議会 共催 東広島市・東広島市教育委員会 後援 広島県教育委員会・NPO法人全国生涯学習まちづくり協会</p> <p>開催日時 平成21年2月7日(土) 13:00～16:40 平成21年2月8日(日) 9:30～12:45</p> <p>開催場所 東広島市中央公民館大ホール(東広島市西条栄町7番48号)</p> <p>内 容 【2/7】 オープニングアトラクション 組曲「西條」(西条中学校) 開会行事 基調提案「市民と行政の協働による生涯学習のまちづくりの方向」 提案者 福留 強(聖徳大学教授) 対談講演「輝いて生きたい」 講師 市田ひろみ氏/福留強氏 シンポジウム「“市民が主役のまちづくり”とは？」 コーディネーター 福留強(聖徳大学教授) シンポジスト 市田ひろみ(服飾評論家) 葛原生子(生涯学習センター推進マネージャー) 杉原潔(瀬戸田町ボランティアネットワークゆうゆう会長) 藏田義雄(東広島市長)</p> <p>【2/8】エクスカーション(市内視察) 三ツ城近隣公園 広島大学東広島キャンパス・広島中央サイエンスパーク 賀茂泉酒造株式会社 施設説明及び酒蔵見学 酒蔵通り散策(観光ボランティア子どもガイド) 昼食</p> <p>参加者 全国生涯学習市町村協議会加盟市町村・近隣市町村自治体職員 全国生涯学習まちづくり協会会員・一般 他</p> <p>実績 2/7; 約700名 2/8; 18名(観光ボランティアガイド1名含む)</p>				
評価及び課題	<p>記念講演「輝いて生きたい」では、お茶のCMで「60歳デビュー」した市田ひろみ氏による素敵に老いる秘訣や「あの人のようになりたい」と憧れる人物を目指してチャレンジしてきたエピソード等により壮年世代が活力を持つ良き機会となった。シンポジウムでは、市民が学習者として高まり、それを的確につかむ行政の力や質を研修で高めてこそ協働のまちづくりにつながることを、また、市民同士が学びあうことは地域の文化度を高め、そこで成長する子ども達に大きな影響をもたらすことなど、討議により市民が主役のまちづくりについて共に学ぶ機会となった。交流会では近隣からの参加者や北海道(本別町、稚内市)から鹿児島県(志布志市、霧島市)に至る全国各地からの会員らが親睦を深める場として、各市町で進める施策についての情報交換など行い、有意義なものとなった。</p> <p>また、全国生涯学習市町村協議会主催のシンポジウムは、次年度で4回目を迎え、「北日本生涯学習シンポジウム(仮称)」を北海道本別町にて実施する予定である。しかしながら、合併や経済不況で財政難を理由に加盟市町村が減少する傾向である。今後のシンポジウム開催について、実施方法や運営経費について再検討する必要がある。</p>				

事務事業名	来てみているいろいろ体験講座 (完全学校週5日制対応)	所属	生涯学習部生涯学習課・青 少年育成課・中央公民館	H20事業費 (単位:千円)	3,997
目的	<p>完全週5日制対応事業として、学校外の様々な体験活動を通じて、子どもたちの「生きる力」を育む。</p> <p>地区公民館を拠点に、自然体験活動や文化体験講座を地域と学校が連携し実施する。児童青少年センターにおいて、土曜日を利用して子どもたちが希望する様々な遊びや体験活動のプログラムを提供するとともに、参加者同士のふれあいや交流を図る。</p> <p>中央公民館において、家族がともに活動できる場を提供するとともに、様々な世代、伝統文化に接しながら人とのふれあいを通じて豊かな感性、社会性と深い親子関係を培う。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>【生涯学習課】 のべ実施回数1,658回・のべ参加人数31,460人</p> <p>【青少年育成課】 東広島市ゆーすふる・チャレンジャー会議 33名委嘱、企画行事参加者541人 公民館ゆーすふる・チャレンジャー会議 企画行事2回 青少年チャレンジボランティア 保育・福祉・牧場3活動実施、のべ103人参加 ふれあい土曜日講座 12講座実施、214人参加 子育て講座 9講座実施、115人参加</p> <p>【中央公民館】 親子ふれあい教室 全10講座、延べ参加人数289人 親子ふれあいコンサート 年1回(11/16)参加者300人 親子ふれあい演劇 年1回(3/8)参加者900人 親子ふれあい映画会 年5回(6.8.10.12.2月)参加者820人</p>				
評価及び課題	<p>【生涯学習課】 小学校や地域の方の協力を得て普段できない体験をすることができている。課題は各公民館によって異なるが、内容のマンネリ化・参加者の固定化・指導者不足などがあげられる。</p> <p>【青少年育成課】 ゆーすふる・チャレンジャーとなったメンバーのリーダー性の育成が図られるとともに、企画行事の参加者からの評価も高い。チャレンジボランティアに参加する青少年が、この活動を通して、将来への展望を持っている。ふれあい土曜日講座、子育て講座とも、児童青少年センターの活動として定着してきている。しかし、ゆーすふる・チャレンジャーが将来の地域リーダーとなるための活動内容の工夫が必要である。また、活動を活発化させるためには、委嘱するメンバーを増やさなければならない。公民館ゆーすふるチャレンジャーについては、放課後子ども教室の活動と重なる部分が強い。活動の方向性について検討する。チャレンジボランティアについては、活動内容によって参加者が定員を満たない場合がある。参加する青少年のニーズに応える活動や体験プログラムを再考するようにする。</p> <p>【中央公民館】 親子ふれあい教室では、普段体験できない事を体験し、作品を完成させるなど、どの講座についても親子で楽しんで取り組み、週五日制対応事業としての成果をあげることが出来ている。また、広島大学と連携した、科学体験工作の講座も毎年行い、好評である。 親子ふれあいコンサート、親子ふれあい演劇は、本物の芸術に触れる良い機会となっている。 親子ふれあい映画会は、親子で名作アニメを楽しみ、休日を親子で過ごす良い機会となっている。 ロビーふれあいコンサートは、お昼の時間を利用して気軽に音楽に触れる良い機会となっている。広島大学とも連携し、学生に出演依頼しているが、好評である。 完全学校週五日制対応事業として、今後もいろいろな講座を開催していく必要があり、内容もマンネリ化しないように企画していく。また、大学(広島大学、エリザベト音楽大学等)との連携を図っていく。</p>				

事務事業名	公民館整備	所属	生涯学習部生涯学習課	H20事業費 (単位：千円)	238,409
目的	<p>生涯学習のまちづくりの拠点としての施設整備のため、福富・河内支所改修、地区公民館安全点検、原公民館空調改修、安芸津公民館耐震診断を実施する。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>支所改修：支所庁舎（福富、河内）の空スペースを生涯学習施設として利用するための改修工事を行った。福富支所の2階部分を公民館と図書館として改修し、河内支所の2階及び3階部分をそれぞれ河内こども図書館と公民館として改修を行なった。</p> <p>安全点検：地区公民館施設の建物躯体、設備等の状態を点検調査した。</p> <p>原公民館空調改修：空調機器の老朽化に伴う改修工事を行った。</p> <p>安芸津公民館耐震診断：耐震改修促進法に基づく特定建築物についての基準により、階数3階以上かつ1,000㎡以上の安芸津公民館について耐震診断を実施した。</p>				
評価及び課題	<p>支所改修によって、支所が複数の公共サービスを1箇所で提供することとなり地域住民の利便性の向上が図られた。</p> <p>安全点検業務及び耐震診断を実施し、公民館施設の現状を把握することができた。</p> <p>今後は、安全点検業務及び耐震診断の結果を受けてH21年度以降改修計画を立て、それに基づいて改修を行なう必要がある。</p>				

事務事業名	公民館活動の推進	所属	生涯学習部中央公民館・生涯学習課	H20事業費 (単位：千円)	15,092
目的	<p>【中央公民館】 実際生活に即する教育、学術及び文化に関する講座を開講することにより、生涯学習の機会を提供し、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。</p> <p>【生涯学習課】 生涯大学システム第1次学習圏としての活動事業の活性化を図る。 地域の多様な学習課題に対応した学習機会、学習情報の提供等を通じて、地域住民の学習活動を支援し、学習拠点としての機能を充実する。 地域の家庭教育支援拠点としての機能を充実する 子ども向けとして、学校5日制対応事業“来てみているいろいろ体験講座”を実施し、子どもたちの奉仕活動・体験活動の推進を通して健全育成を図る。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>【中央公民館】 一般向け講座 全27講座、延べ参加人数1,904人 親子ふれあい教室他 ・親子ふれあい教室 全10講座、延べ参加人数289人 ・親子ふれあいコンサート 年1回(11/16)参加者300人 ・親子ふれあい演劇 年1回(3/8)参加者900人 ・親子ふれあい映画会 年5回(6.8.10.12.2月)参加者820人 ・ロビーふれあいコンサート 年10回(5.6.7.8.9.10.11.12.1.3.月)参加者460人 ・講座開講記念講演会(5/24)参加者200人 講師 フリーパーソナリティ 藤田弘之 ・講座修了記念発表会(1/24)参加者250人 記念公演「韓国伝統芸能」 地域住民の要望やこれまでの実績等をふまえ、地域の学習ニーズに応えていくとともに、生涯学習システムの拠点機能を高める。</p> <p>【生涯学習課】 地区公民館主催講座 実施回数延べ10,292回・延べ参加者171,630人(子ども向け・イベント含む)</p>				
評価及び課題	<p>【中央公民館】 新規講座や地域課題、現代的課題に即した講座を開催し、参加者も増えている。 学習の発表の機会を設けたり、講座終了後は自主サークルとして活動するなど、自ら進んで学習活動を行う生涯学習のきっかけ作りとしての成果は上がっている。 課題としては、参加者が固定化する傾向にあること、市民のニーズと公民館が実施したいと考える講座(地域課題や現代的課題に対応した講座など)とのギャップがあり、参加者が少ない講座がある。PRの方法を工夫するなどして、参加者の増加を図る。 大学との連携も引き続き図りながら、講座等実施していく。</p> <p>【生涯学習課】 それぞれの地域の実情に合わせた講座を幅広く開催しており、参加者も増えている。学校などとの連携を図っている公民館も多い。 課題としては、主催事業から自主サークルへの移行が進まず、講座の内容・参加者共に固定化する傾向にある。</p>				

事務事業名	図書館管理運営事業	所属	生涯学習部中央図書館	H20事業費 (単位：千円)	177,716
目的	<p>図書やその他の資料を収集、整理、保存し、その提供を通じて住民の学習を支援する。また、図書館が利用者の期待に応え、よりよいサービスを実施するため、施設の維持管理に努める。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>(1) 図書館サービスの提供 図書35,948冊を購入して、利用者に関覧・貸出による提供を実施した。 (蔵書冊数524,430冊) 年間の図書の貸出冊数は1,205,448冊。年間の利用者数は313,239人。 ボランティアの協力を得て、各図書館で地域の特色を生かし、本に親しんでもらうために、様々な事業、行事に取り組んだ。</p> <p>(2) 全域サービスの充実 中央館・地域館計7館と、移動図書館の、一般ステーション26か所、小学校等の学校43か所 (新規に黒瀬特別支援学校へ巡回開始)の市内全域への巡回の実施により、市内各地域の市民に図書館サービスを提供した。 市の南部地域を巡回する移動図書館車1台について、中央図書館から黒瀬図書館に拠点を移して、より地域に密着したサービスが提供できるようにした。</p> <p>(3) 図書館の移転・整備 中央図書館福富分室、河内こども図書館の支所への移転が21年3月に完了した。</p>				
評価及び課題	<p>年間の図書の貸出冊数は前年度比3.3%、利用者数は3.6%増加(19年度の貸出冊数1,167,070冊、利用者数は302,361人)するなど、全体的に利用は増加しており、利用者の生涯学習に貢献している。</p> <p>市民の暮らしの中に図書館の存在が定着してきている。</p>				